

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 川崎市日本語指導等協力者勉強会

1 事業の趣旨・目的

川崎市では、来日して間もない児童・生徒に対して総合教育センターで面接を行い、必要に応じてその児童生徒の通う市立小中学校へ日本語指導等協力者の派遣業務を行っている。日本語指導等協力者の指導内容は、学校や地域において社会の一員として生活できるように、日本語指導はもちろんのこと、異文化で暮らす子どもたちに寄り添って心のケアを含めた対応も行っている。その主たる日本語指導を日本人協力者ととも外国人協力者も担っている。しかし、日本語指導等協力者になるための資格は日本語の他にもう一つの言語ができるということのみである。そのために実際、指導に入っている協力者たちのレベルにはばらつきがある。日本語指導の技術とそのスキルアップを図り、それとともに外国人協力者の日本語能力アップをすることで、日本の学校教育を受ける外国人児童・生徒が必要十分な日本語指導等を受けることができると考えた。また、多様な協力者を受け入れ、研修を重ねることで多くの協力者が多文化共生のためのスキルを身につけることも目的とした。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 7 月 15 日(水) 15:00 ~ 17:00	川崎市総 合教育セ ンター 会議室	池田恵子 古村睦美 斉木伸子 高橋悦子 田子はるみ 段村洋子 三宅裕子 村井直子	◎セミナーの内容について ・ 内容と講師の最終確認 ・ セミナーの日程・会場の 決定 ・ チラシ案	・日本語能力ブラッシュ アップセミナーと日本語 指導法セミナーについ て、必要な内容と講師 の検討をする。 ・開催場所の確保と協 力者が参加しやすい日 程の検討を行う。 ・外国人協力者にもわ

				かりやすい日本語の表現でチラシの作成をする。協力者全員に届くよう、配布方法も検討する。
平成 21 年 8 月 2 日	同上	同上 8 名	◎日本語能力ブラッシュアップセミナー ・ 実施内容確認 ・ 参加者確認 ◎日本語指導法セミナー ・ チラシ内容検討 ・ 講師交渉・内容確認 ・ 9/30 の実施内容・役割分担、アンケートの内容確認	・全4回の講師からの内容・準備するものの確認を行う。 ・ 参加人数確認・名簿作りを行う。 ・参加したくなるチラシ検討。講師交渉などの状況を確認する。 ・昨年度のものを参考にアンケートの内容を確認する。
平成 21 年 10 月 1 日(木) 15:00 ~ 17:00	同上	同上 8 名	◎日本語指導法セミナー 10/21、11/4、11/17 の打ち合わせ ・ 実施内容確認	・各回講師とその内容を確認する。準備するものの確認を行う。
平成 21 年 12 月 22 日(火) 14:00 ~ 17:00	同上	同上 8 名	◎日本語能力ブラッシュアップセミナーの振り返り ◎日本語指導法セミナー ・ 1/14 の最終打ち合わせ	・アンケート確認し、学べたことの確認をする。 ・勉強会のメンバーが関わった「特別支援等」の具体例を収集する。 ・協力者が「あれ？」と思った時、どうつなげていくかのワークショップを検討する。 ・配布物について検討する(学校内の組織図・チェックリスト)。

			・ 9/30、10/21、11/4、11/17 の振り返り	・ 各回のよかった点、改善点話し合う。
平成 22 年 1 月 15 日 (金) 15:00 ~ 17:00	同上	同上 8 名	◎日本語指導セミナー ・ 2/12 の最終打ち合わせ ・ 1/14 の振り返り	・ 指導法セミナーのまとめとしての内容検討をする。 ・ 協力者の対応として 3 箇条を確認する。2/12 の内容に盛り込む。
平成 22 年 3 月 16 日 (火) 15:30 ~ 17:30	同上	同上 8 名	全体の振り返り ・ 各回セミナーからわかった課題確認 ・ 実施内容報告書 & 委託業務完了報告書について確認	・ アンケートから外国人の思いや希望などをまとめる。 ・ 報告書の内容について討議、確認する。

【写真】

3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名

川崎市日本語指導等協力者である外国人協力者のための日本語能力ブラッシュアップセミナーと日本語指導法セミナー

(2) 養成講座の目標

日本語指導等協力者として、川崎市の学校での「日本語指導等」の意味を理解してもらおうと共に外国人協力者の日本語指導法のレベルアップを図り、外国人児童・生徒への指導・対応のばらつきをできるだけ小さくすることをめざす。そのために日本語教育に携わっている講師を招き、外国人協力者にもわかりやすい実践例や解説をしていただき、日本語指導法を習得する。それとともに作文教室を開催し外国人協力者自身の日本語能力のブラッシュアップもねらう。

(3) 受講者の総数 62 人

(4) 開催時間数(回数) 23 時間 (10 回)

(5) 参加対象者の要件

- ・ 川崎市日本語指導等協力者 (外国人協力者および日本人協力者)
- ・ 当セミナーの趣旨を理解する人

(6) 受講者の募集方法

- ・ 協力者が派遣されている学校へ川崎市総合教育センターから学校間便を使って募集チラシを配布
- ・ 登録者に対しパソコンで募集（チラシも添付）
- ・ 協力者の口コミによる募集 等

(7) 研修会場

- ・ 川崎市総合教育センター 研修室
- ・ 川崎市立川崎小学校
- ・ 川崎市立井田小学校

(8) 使用した教材・リソース

- ・ こどものにほんご1 絵カード
- ・ こどものにほんご1 れんしゅうちょう
- ・ こどものにほんご2 絵カード
- ・ こどものにほんご2 れんしゅうちょう
- ・ こどものにほんご宝島
- ・ こどものえじてん あいうえお
- ・ にほんごだいすき2-れんごのほん
- ・ にほんごだいすき3-テキスト
- ・ にほんごだいすき3-ワークブック
- ・ はじめのいっぽ
- ・ ナビゲート作文システム
- ・ あんごうをところ
- ・ おはなし読解ワーク初級編
- ・ おはなし読解ワーク中級編
- ・ ひらがな読解ワーク
- ・ 会話練習ワーク
- ・ レベル別日本語多読ライブラリー にほんごよむよむ文庫 レベル 1 vol.2
- ・ レベル別日本語多読ライブラリー にほんごよむよむ文庫 レベル 2 vol.3
- ・ レベル別日本語多読ライブラリー にほんごよむよむ文庫 レベル 3 vol.1
- ・ 書く力をつける「ひぐち先生の書きことば塾」
- ・ ことばの練習帳「テーマ別中級から学ぶ日本語」の漢字、語彙練習
- ・ マンガでわかる実用敬語 初級編
- ・ 日本語集中トレーニング
- ・ やさしい論理的思考トレーニング
- ・ 児童生徒のための日本語わいわい活動集
- ・ 基礎日本語文法教本

- ・ 日本語文型辞典
- ・ Japanese For Young People I Student Book
- ・ Japanese For Young People I Kana Work Book
- ・ Japanese For Young People III
- ・ Japanese In Flash
- ・ Hello Japanese For Boys and Girls
- ・ Todo sobre mi/All Me:All About Me(Literacy,Laanguage and Learning)
- ・ 教育の職業的意義-若者、学校、社会をつなぐ
- ・ ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
8月24日 10:00～ 12:00	作文教室1 1、自己紹介文を書く。 2、書き言葉について1～「ます・です体」「だ・である体」について。	川崎市日本語指導巡回 相談員、東京学芸大学 付属国際中等教育学校・ 関東国際高等学校 講師 菅原 雅枝	11名
8月24日 13:00～ 15:00	作文教室2 1、書き言葉について2～「話し言葉」を「書き言葉」に換える。 2、作文を書く。	同上	11名
8月27日 10:00～ 12:00	作文教室3 1、本と自分の国を比べる～本文を書く。書いた作文を他の人に読んでもらい、チェックする。訂正し、清書する。 2、原稿用紙の使い方～書き方。書くときの決まりを知る。書いてみる。	同上	10名
8月27日 13:00～ 15:00	作文教室4 1、意見文を書く～意見を決める。例を探す。縦書きで書く。 2、報告書の書き方～子どもの様子、学習の様子、学校との	同上	9名

	連携、センターへの連絡等		
9月30日 14:00～ 16:30	<p>作文指導って？</p> <p>1、書くことについての解説。</p> <p>2、グループワーク1～かな・単語・単文をどう教えているか。</p> <p>3、作文指導について解説。</p> <p>4、グループワーク2～どんな作文を書かせたか話し合う。</p> <p>5、グループワーク3～⑤年生の運動会の作文指導をするならの設定で、母語の使い方を考える。発表する。</p>	同上	32名
10月21日 13:30～ 16:00	<p>広瀬先生の授業を見よう1</p> <p>1、日本語指導等協力者（堀弥生先生）の指導の授業を見る。</p> <p>2、自己紹介文のモデル作文をつかっての作文指導を見る。</p> <p>3、グループワーク1</p> <p>①読み書きはなぜ必要？</p> <p>②広瀬先生によるまとめ</p> <p>4、グループワーク2</p> <p>①印象に残った点を</p>	<p>TIJ 東京日本語研修所 所長 広瀬 万里子</p>	25名

	話し合う ②モデル授業をみて、自分の指導に活かせると思った点を話し合う		
11月4日 14:00～ 16:30	授業の工夫を知ろう！ 1、日本語の習得段階について。 2、テキスト以外、学習意欲を高める工夫。 3、各時期に応じて、楽しく習得させる工夫。 4、文字、漢字指導。 5、質疑応答	波多野ファミリスクール 理事 大蔵 守久	29名
11月17日 13:30～ 16:00	広瀬先生授業を見よう2 1、行事作文(八ヶ岳自然教室の作文)指導のモデル授業を見る。 2、質疑応答 3、グループワークへ担任から頼まれる作文と日本語指導としての作文の違い、作文指導の時どんな準備が必要か話し合う。	TIJ 東京日本語研修所 所長 広瀬 万里子	22名
1月14日 14:00～ 16:30	ことば以外の問題: 「あれ?」と思ったら 1、特別支援教育が必要な児童生徒への対応について。	川崎市総合教育センター 特別支援 指導主事 増田 亨	23名

	2、ワークショップへ「あれ？」と思って時の対応について。 3、LD、ADHDの疑いのある児童に対する支援の流れ確認する。		
2月12日 14:00～ 16:30	ふりかえり みんなでレベルアップを！ 1、日本語指導法セミナーの振り返り・意見交換する。 2、日本語指導等協力者に求められるものとは？ 3、グループワークへ学べたこと・今後学びたいことなど話し合う。 4、修了証授与	川崎市日本語指導等協力者 高橋 悦子	23名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

各回及び最終回のアンケートをまとめた。多く出た意見としては次のようなものがあった。

- ・ セミナーは大切な学ぶ場です。日本語指導法は実践で役に立ちますが、「広瀬先生の授業を見よう」は自分の日本語の勉強にもなる。
- ・ 日本語のスキルアップをしたい。
- ・ 作文指導の大切さを勉強でき、大変よかった。
- ・ グループワークでの意見交換の時間はよかった。国別、学年別でのグループ編成も考えてもらいたい。
- ・ 協力者専用のホームページを作成していただきたい。ホームページから作文指導に関する作文枠やモデル作文だけでなく、ドリルなどもダウンロードできたらいい。

② 実施主体からの研修内容結果評価

作文教室に参加することで、自分の思いを日本語で表現する難しさを再認識し、こ

れまで人に言えなかった自分の思いや日本語の不十分さを感じていることなどを話すことができた。また、セミナーにグループワークを取り入れることで、日本語指導等協力者としての指導に関する悩みや日本語指導等協力者として必要な力を知り、客観的に自分の日本語能力、指導力を意識することができるようになった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

外国人協力者の日本語能力のブラッシュアップを重点的に、日本語指導等協力者としての指導力のスキルアップをさらに図る研修を計画していきたい。外国人児童・生徒の指導に対して、自身の能力を十分に発揮できるよう、特に学校で使用する日本語を中心とした日本語指導力のスキルアップおよび日本語の能力の育成をしたり、日本語教育のプロの教師の指導を見たりする研修を考えている。また、同じ日本語指導等協力者間の意見交換をしながら、外国人協力者の日本語指導力のスキルアップを図りたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

学校に派遣する日本語指導等協力者のレベルアップを図ることで川崎市の小中学校での活躍が期待できる。またエスニックコミュニティーの一員である外国人協力者のレベルアップを図るとことは、地域で生活している他のコミュニティーの人たちに波及する効果は図り知れない。

② 研修後の人材活用

川崎市の市立小・中学校に派遣する日本語指導等協力者として活用する。

(12) 今後の課題

日本語指導等協力者になるためには特別の資格は必要ないが、外国人児童・生徒が日本の学校、社会の一員として今後生きていくために必要な日本語を習得できるよう、日本語指導等協力者としての指導力をあげることが必要であることを認識してもらい、セミナーに積極的に参加してもらう必要がある。そのため、外国人協力者が参加したいと思う内容検討と時期・時間、開催場所を考える必要がある。

